

「対策効果シミュレーション事業(ヒートアイランド対策の定量的な評価手法の検討)」企画提案公募に係る質問に対する回答

	質問内容	大阪府の回答
	【応募書類関連】	
1	公募要領P4(3)添付書類「ウ 納税証明書(各1部)」②税務署が発行する消費税及び地方消費税の納税証明書は、「その3 未納税額のない証明用」「その3の3 法人税及び消費税及び地方消費税について未納税額のない証明用」のどちらを提出すればよいでしょうか。	税務署が発行する「消費税及び地方消費税」に関する納税証明(未納がないことの証明)ですので、ご質問の内容に関しましては、「その3 未納税額のない証明用」の請求において、「消費税及び地方消費税」の税目について証明を受けてください。
2	提案書の枚数制限はありますか。	提案書様式中の提案概要(提案のアピールポイント)につきましては、A4サイズ1枚程度としてください。提案書のその他の部分については、枚数制限はございませんので、様式2「企画提案書」の記載欄を適宜拡張のうえ、作成をお願いします。 なお、10月6日午後に予定している提案事業者からの選定委員会へのプレゼンテーションは、10分～15分程度の見込みですのでご注意ください。
	【大阪府のヒートアイランド対策の取組み関連】	
1	過年度業務で「熱環境マップ」が作成されていますが、その時点でもシミュレーションによる対策効果の検討はされているのでしょうか。また、されているようでしたら、今回の業務との関連や位置づけはどのようなものになるのでしょうか。	熱環境マップは、1km ² メッシュで府域を分割し、それぞれの地域の熱負荷の程度等により、10類型に分類した地図を作成したもので、特に熱負荷の高い4つの類型に該当する街区については、ヒートアイランド対策効果のシミュレーションを実施しました。 しかし、その結果について直接今回の業務に活用することを、企画提案に義務付けている訳ではありません。
	【シミュレーションソフト関連】	
1	大阪府ホームページにおける1ファイルあたりの最大データ容量及び全体のデータ容量について、制限等がありますか。	最大データ容量及び1ファイルあたりのデータ容量ともに制限はありません。しかしながら、企画提案公募においては、開発したシミュレーションソフトを府民・事業者等が簡易に利用できることを目的としていますので、その点をご配慮いただき、インターネット通信回線の多様性も踏まえ、企画提案をお願いします。
2	仕様書 2ページ 4 事業内容 (2)ヒートアイランド対策効果を算出する・・・上記の最後の項目で、「開発にあたり汎用ソフトを利用して作成し、」とありますが、「汎用ソフト」というのは、例えば、どのようなソフトのことでしょうか。Excelのようなもので、ダウンロードしてそのまま使用することをイメージされておられるのでしょうか。あるいは、ダウンロードした後、府民や事業者等が所有するパソコンにインストールしてから使用するようなイメージでしょうか。	「汎用ソフト」につきましては、広くいろいろな方面に用いられているソフトを指し、Excelも汎用ソフトと考えられます。また、公募要領6ページ 8 審査の方法(2)審査基準「シミュレーションソフトの利便性」に示していますように、開発したシミュレーションソフトを府民・事業者等が簡易に利用できることの趣旨を踏まえ、使用方法も含め企画提案をお願いします。

※質問内容は要約しています。